

授業概要

社会の中のさまざまなトラブルは、何が問題で、どのように考え、どう判断すればよりよい解決になるのか。そのよりどころとなる法的な考え方（リーガルマインド）を身につけることが現代社会で必要となる。こうした問題解決の指針となるリーガルマインドを身につけていないと、トラブルに巻き込まれ易くなるかもしれない。トラブルの多くは、安易な方法を選択し、こうした解決ができなかったことが原因だからだ。そこで、この講義では、生活の中のさまざまな問題について、リーガルマインドを通じて、解決策を考えることを内容としている。

授業計画

| | |
|--------|--------------------------------|
| 第 1 回 | 法への扉を開こう ―ガイダンス |
| 第 2 回 | 裁判員制度 ―もし、自分が裁判員裁判官に選ばれたなら |
| 第 3 回 | 契約の自由と信義則 ―その契約をしても大丈夫？ |
| 第 4 回 | 所有と占有 |
| 第 5 回 | 犯罪と法―刑事司法のプロセス |
| 第 6 回 | 刑罰とは何か―刑務所の中の問題から考える |
| 第 7 回 | 少年法を考える ―少年法の理念とは |
| 第 8 回 | 家族と法―家族（親族・姻族）とは |
| 第 9 回 | 結婚に関する法的な問題―夫婦同姓と女性の婚姻禁止期間 |
| 第 10 回 | 個人情報と法 ―個人情報が保護するものとは |
| 第 11 回 | 労働者の権利 ―ブラック企業への対応から働き者の権利を考える |
| 第 12 回 | 情報と法① ―替え歌は違法なのか、著作権から考える |
| 第 13 回 | 情報と法② ―パブリシティ権とは |
| 第 14 回 | 死刑制度―死刑の存廃問題から死刑制度を考えてみる |
| 第 15 回 | リーガル・マインドとバランス（まとめ） |
| 第 16 回 | 試験（筆記） |

達成目標

「リーガルマインド」「法的安定性」「具体的妥当性」「社会規範と法的判断」「法の目的と機能」「条文と解釈」といったキーワードが理解でき、具体的な紛争の平和的解決が出来ることを目標とする。

履修上の注意

実際の法を学ぶためにも、法に関する様々な時事的問題に触れることは大切と思われる。そのため、日々のニュースに目を向けることが習慣となるようにしてほしい。

予習復習

予習としては、日々、法的な様々なニュースは起こっており、そのような点を踏まえ、身近な決まりについて考えてみる。

復習としては、身近な決まりから、法のもつ意味を理解し、不明な点は各自で調べて確認をする。

評価方法

定期試験（筆記）とレポート課題で評価を行う。試験 90%、レポート課題 10%

テキスト

- ・教科書名：法学のおもしろさ（第3版）
 - ・著者名：山本 聡
 - ・出版社名：北樹出版
 - ・出版年（ISBN）：978-4-7793-0607-5
- ※その他、講義で使用するプリントを毎回配布する。